

平成20年度病害虫発生予報第8号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	うどんこ病	並	並
	褐斑病	やや多	やや多
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類(防除情報第11号)	やや多	やや多
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類(防除情報第11号)	やや多	やや多
	ハモグリバエ類	やや少	やや少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	炭疽病(<i>G.cingulata</i>)	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	並	並
	ハスモンヨトウ	並	並
ブロッコリー	コナガ	前年並	前年並
	ヨトウムシ類(ヨトウガ、ハスモンヨトウ)	やや多 (前年比)	やや多 (前年比)
	アオムシ	やや多 (前年比)	やや多 (前年比)
かんきつ	ミカンハダニ	並	並

【発生予報】 本文の()内は平年値

きゅうり

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(9筆)の結果、発病葉率は3.6%(3.8%)、発生圃場率55.6%(45.6%)であった。

2. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(9筆)の結果、発病葉率は0.3%(0.0%)、発生圃場率11.1%(3.4%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 発生が多くなってからの防除は困難なので、早期防除に努める。

イ 薬剤は葉裏までかかるように十分散布する。

ウ 薬剤防除の際は系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

3. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.0%、発生圃場率2.3%)。

4. コナジラミ類

平成20年11月17日付病害虫発生予察防除情報第11号による。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(前年 発病株率0.1%、発生圃場率8.3%)。

2. コナジラミ類

平成20年11月17日付病害虫発生予察防除情報第11号による。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(12筆)の結果、被害葉率は2.6%(6.9%)、発生圃場率は66.7%(61.5%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.3%、発生圃場率5.5%)。

2. 炭疽病 (*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率0.0%(0.0%)、発生圃場率7.4%(4.6%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率2.1%(1.9%)、発生圃場率25.9%(17.7%)であった。

4. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.4%(1.8%)、発生圃場率は22.2%(17.0%)であった。

5. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(27筆)の結果、食害株率は4.4%(5.9%)、発生圃場率は48.1%(55.1%)であった。

ブロッコリー

1. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 前年並

(2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は3.7%(前年3.3%)、発生圃場率41.7%(前年50.0%)であった。

2. ヨトウムシ類(ヨトウガ、ハスモンヨトウ)

(1) 予報内容

発生程度 やや多(前年比)

(2) 予報の根拠

ア 11月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は6.7%(前年4.7%)、発生圃場率は58.3%(前年58.3%)であった。

イ ハスモンヨトウのフェロモントラップ(諫早市)による誘殺量は、平年より多く推移している(図1)。

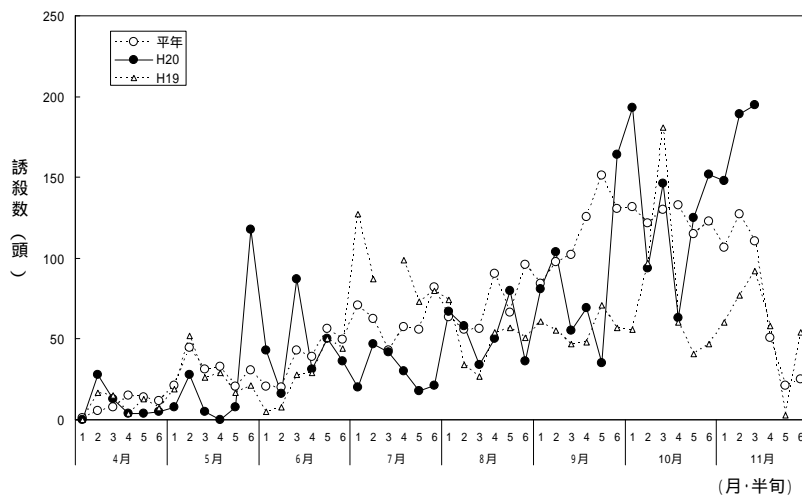


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市)
平年:H10~H19の平均値(最大・小値除く)

(3) 防除上注意すべき事項

ア 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので若齢幼虫期に防除を行う。

イ 薬剤は虫体によくかかるよう丁寧に散布する。

3. アオムシ

(1) 予報内容

発生程度 やや多(前年比)

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は2.7%、発生圃場率は25.0%であった(前年、発生を認めなかった)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので若齢幼虫期に防除を行う。

イ 薬剤は虫体によくかかるよう丁寧に散布する。

かんきつ

1. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1 1月上旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は7.5%(8.3%)、発生圃場率は64.1%(48.7%)であった。

【参考】

気象 (平成20年11月14日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

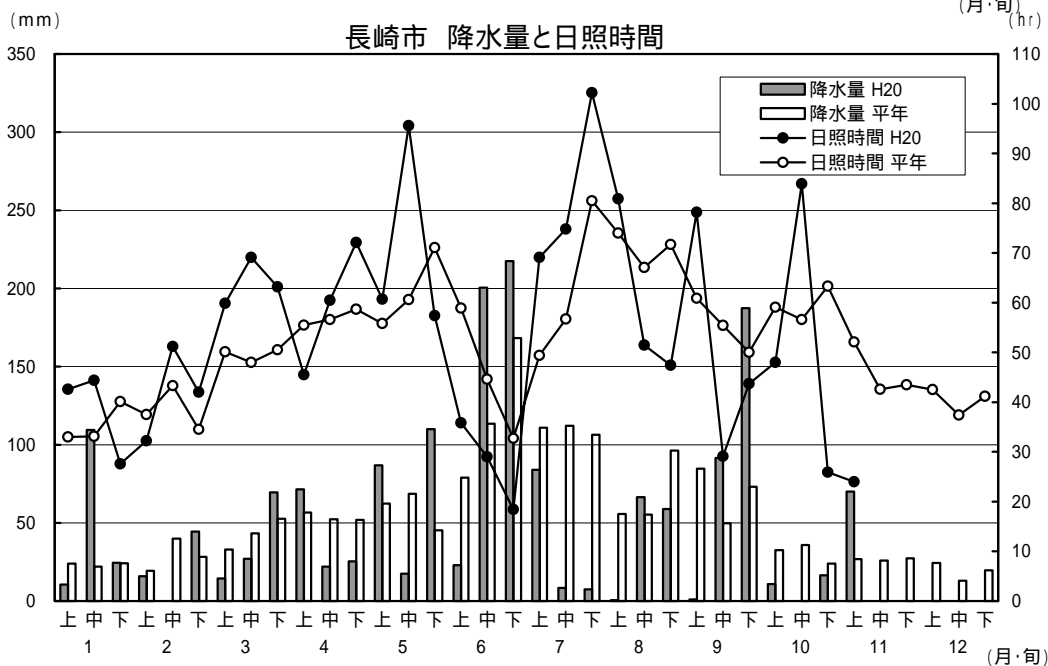
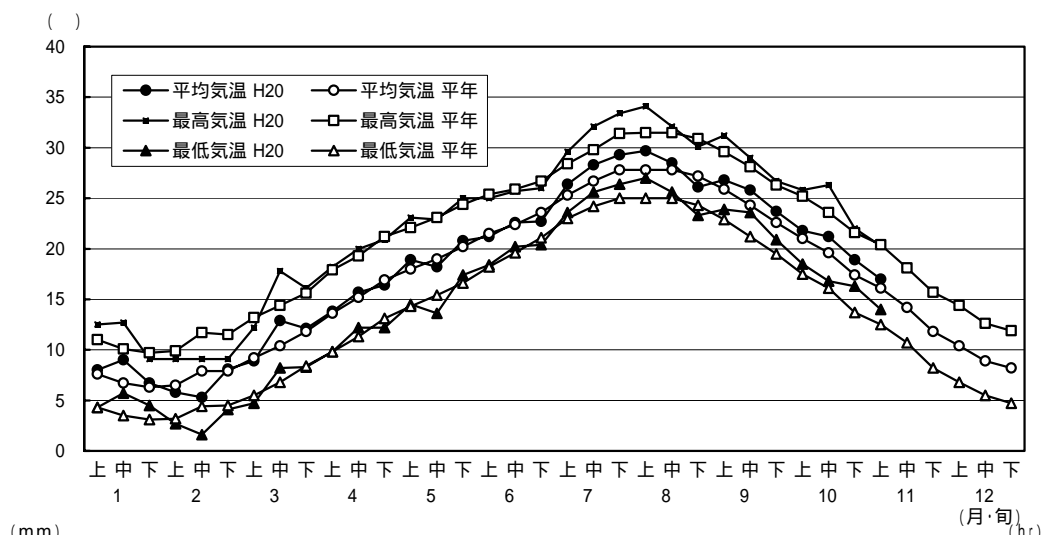
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

予報対象地域：九州北部地域

平成20年の気象経過 (長崎海洋気象台)

長崎市 気温



「農薬使用基準の遵守について」

農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルをよく読み、農薬使用基準（適用作物、適用病害虫、使用濃度、使用量、使用時期、総使用回数）及び使用上の注意事項を守って、適正に使いましょう。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027